



学校通信 赤坂小だより

令和6年度 第11号 R6.8.26

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

前期後半スタート!!

今こそ、夏休みのがんばりが実を結ぶとき

◎37日間の夏休みが終わり、今日から学校生活が始まりました。この夏は、35度前後の真夏日が続き、熱中症への警戒から屋外の活動も制限される日々でした。加えて、全国各地でコロナウイルス感染症流行の兆しが見られるなど、健康管理に気を配らなければならない毎日でした。残暑がまだまだ厳しい中、今日は児童のみなさんが元気に登校してくる姿を見て、安心しました。自分なりの目標を達成して、充実した夏休みを過ごせたことでしょう。その成果を、大いに発揮してほしいものです。

◆平和の祭典オリンピック～「平和」を守り、伝えよう

○夏休みに入る前日、全校放送で1945年8月8日に旧八幡市を襲った八幡大空襲についてお話ししました。

今日の全校放送では、フランスのパリで開催されたオリンピックについて話をしました。その中で、日本卓球チームのエースで北九州市出身の早田ひな選手の活躍に触れるとともに、試合以外で見られた人柄のすばらしさを感じさせるエピソードを紹介しました。



その一つは、代表として出場できず、選手3人をサポートし続けた木原選手への心配りです。早田選手自身も、東京オリンピックでは代表に選ばれず、球拾いや選手の練習相手を務めた経験から、同じ立場の木原選手への感謝の気持ちを忘れませんでした。銀メダルに輝いた団体戦の表彰式では、自分は個人戦の銅メダルをかけ、木原選手に銀メダルをかけて4人で写真撮影をする姿には、爽やかな感動を覚えました。

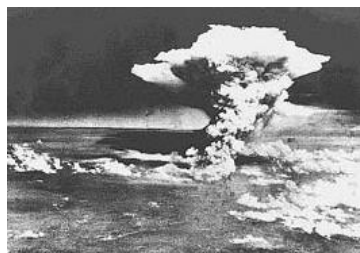
また、帰国後の会見で、早田選手は、「鹿児島の特攻資料館に行って、生きていることを、そして自分が卓球をこうやって当たり前でできていることというのは当たり前じゃないというのを感じたい。」と話しました。

南九州市にある「知覧特攻平和会館」は、沖縄戦のときに特攻隊として出撃した隊員の遺品や関係資料を展示した施設です。早田選手は、戦争中に今の自分と同じか年下の若者が、飛行機ごと敵に体当たりして尊い命を落とした事実を思い、平和な時代に生まれ、卓球に打ち込めることが決して当たり前ではないと心に刻もうと考えているのです。

自分を支えてくれる多くの人への感謝の気持ちと、戦争の悲惨さと平和の有難さを忘れない、早田選手の姿勢に、私たちも大いに学びたいと思います。

○今年は、戦後79年目の夏を迎えました。原爆の被害を受けた広島や長崎では、毎年平和を願う式典が開かれています。全校放送では、広島の平和記念式典で、広島市内の小学6年生が読み上げた「平和の誓い」

を紹介しました。戦争を知る世代が少なくなり、悲惨な体験を聞く機会が失われつつある現代、戦争の罪深さと平和の尊さを未来へつなぐために何が大切かを考えさせられる内容です。全文を掲載します。



平和への誓い

○目を閉じて想像してください。緑豊かで美しいまち。人でにぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。

79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。「ドーン!」という鼓膜が破れるほどの大きな音。

立ち昇る黒味がかかった朱色の雲。人も草木も焼かれ、助けを求める声と絶望の涙で、まちは埋め尽くされました。

ある被爆者は言います。あの時の広島は「地獄」だったと。

原子爆弾は、色鮮やかな日常を奪い、広島を灰色の世界へと変えてしまったのです。

被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。

言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。

今もなお、世界では戦争が続いています。

79年前と同じように、生きてくても生きることができなかつた人たち、明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。本当にこのままでよいのでしょうか。願うだけでは、平和はおとずれません。

色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。

一人一人が相手の話をよく聞くこと。「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。私たちにもできる平和への一歩です。

さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合しましょう。世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。

令和6年(2024年)8月6日 ども代表 広島市立祇園小学校6年 加藤 晶

広島市立八幡東小学校6年 石丸 優斗

大切に育てよう! 私たちの中にある「共感する力」

○私たち人類が20万年以上前に誕生して以来、今日まで生き延びてこられた要因の一つが「共感する力」と言われています。これは、人間のもつ特殊な能力で、他人が痛い目にあっているのを見ると、自分の体が痛めつけられているように感じて顔をしかめたくくなります。一人一人が、自分の中にある「共感する力」を育てることが、平和を守り、よりよい人間関係を築くことにつながるのではないのでしょうか。

○立秋を過ぎたとはいえ、まだまだ暑い日が続いています。学校では、引き続き熱中症を防ぐための対応を行っていきます。熱中症の予防には、適切な睡眠と栄養、適宜水分を補給することが必要です。ご家庭でも「早寝早起き朝ご飯」の習慣づけをしていただくとともに、登校時には水筒に十分お茶や水を入れていただき、帽子をかぶるように声掛けをよろしくお願いします。

《8・9月の主な予定》

26日(月) 前期後半開始日 ※11:35 下校予定

27日(火) 給食開始日・5時間授業 ※14:55 下校予定

28日(水) 5時間授業・職員研修 ※14:25 下校予定

29日(木) 5時間授業・職員研修 ※14:55 下校予定

30日(金) 給食後下校・職員研修 ※13:30 下校予定

9月2日(月) シェイクアウト訓練

3日(火)～5日(木) 夏休み作品展(於:家庭科室)

4日(水) 5校時:人権学習参観(1～4,6年 14:25 下校予定)

6校時:【5年】自然教室説明会(5年のみ 15:15 下校予定)

5日(木) 委員会活動(1～4年 14:25、5,6年 15:55 下校予定)

11日(水) 【3年】社会見学(3年のみ 14:40 下校予定)

12日(木) クラブ活動

(1～3年 14:55 下校予定 4～6年 15:55 下校予定)

13日(金) 職員研修のため、給食後下校 ※13:30 下校予定

16日(月) 敬老の日

17日(火)～20日(金) 家庭学習チャレンジ週間 5校時後、14:55 下校予定
※18日(水)のみ 14:25 下校予定

20日(金) 【5年】社会見学(5年生登校8時、15:40 下校予定)

23日(月) 秋分の日振替休日

30日(月) 【3年】消防士さんといっしょ